

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020年 3月 19日作成 第 1.0 版

研究課題名	膵癌に対する術前内視鏡的胆道ドレナージ治療の検討
研究の対象	2010年1月1日から2019年12月31日までに膵癌に対して外科的切除を施行された患者さんのうち、術前に内視鏡的胆道ドレナージが施行された方。
研究目的 ・方法	膵癌の予後改善を目的とした術前治療の有用性の報告がありますが、手術待機期間が長くなる傾向があります。閉塞性黄疸とよばれる胆管の流れが悪い方は、流れを良くするための胆道ドレナージという治療が術前に必要です。しかし術前治療中の胆管の流れをよくするのに適した方法は明らかになっていません。今回、当院において術前に抗癌剤治療を行い、かつ内視鏡で胆道ドレナージを行った後、膵癌手術を受けた方の臨床情報を解析し、適切な胆道ドレナージ法の手がかりを探します。 診療録から過去の情報を収集して行いますので、対象の方の負担になることはありません。
研究期間	西暦 2020年 6月 2日 ~ 西暦 2020年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<ol style="list-style-type: none">1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、腹部手術歴）、臨床病期、外科的切除が可能かどうか、家族歴2) 血液検査3) 手術治療内容（術式、手術待機期間、手術時間、出血量、術後偶発症）4) 術前治療内容（化学療法の使用薬剤・量、放射線治療の放射線量、期間、副作用）5) 胆道ドレナージ治療内容（手技成功率、ステント種類・径・長さ、ステント開存期間、胆道ドレナージ回数）6) 病理学的所見（病理学的完全切除率、組織型、深達度、脈管侵襲、リンパ節転移、切除断端）7) 治療効果：ステント再治療の有無8) 手術までに要した費用9) 有害事象10) 予後

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 内視鏡センター （研究責任者）長谷川 翔

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-784-3546